

我孫子中バンド「春コン」の季節となりました。この1年も皆さまからの暖かい応援をいただき、たくさんの演奏活動を繰り広げてまいりました。あちこちのステージで出会ったお客様、天王台地区を始めとする市内各地域の皆様、そして私たち部員の音楽活動を支えてくださっているすべての皆さまへの感謝の気持ちをこめて「第4回小さな春のコンサート」を開きます。

さて、今年の注目の曲目は…

1年間かけてずっと勉強してきた喜歌劇「詩人と農夫」序曲（F.スッペ）。よき時代のウィーンの音楽に触れることができました。有名なチェロのソロは3年・K. M のアルトサックスで演奏します。秋のステージからノーカットで全曲演奏してきましたが、夏のころ目指していた速いテンポに今回は少し近づくことができるかも…。木管のメッセージをそろえるためにみんなで汗を流した日々が懐かしいです。1年生も何人か演奏に加わる予定です。さらにクラシックでは「アルルの女」第2組曲から「間奏曲」と「ファランドール」（G.ビゼー）、そして「オンブラ・マイ・フ」（G.F.ヘンデル）を探り上げました。「間奏曲」はオリジナル通りアルトサックスがホルンとともに美しいメロディを奏でます。「ファランドール」はフランス・プロヴァンス地方の祭りのタンブルーと「王の行進」の旋律を組み合わせた編曲者ギローの傑作です。「オンブラ・マイ・フ」は我孫子中音楽科のニューフェイス・齊藤明日美先生（メゾ・ソプラノ、吹奏楽部副顧問）のソロをご堪能ください。



また、吹奏楽オールドファンには根強い人気のある「ミリタリーバンドのための第2組曲」（G.ホルスト）を、新しい我孫子中バンドレパートリーとして、

この春コンで初めてご披露いたします。優雅なユーフォニアム・ソロがふんだんに使われている吹奏楽の古典名曲で、私たちもこの曲の魅力にすっかりハマってしまいました。3曲目の「鍛冶屋の歌」で使われる金床は技術科室からの借用“楽器”です！4曲目「ダーガソンの幻想曲」では朗々と響くグリーンスリーブスの哀愁深いメロディに我孫子中バンド・ユーフォニアムセクションの気品が漂います。このユーフォニアムセクションの研究心旺盛な3年生・H. W が、アイルランド民謡の「春の日の花と輝く」麥奏曲に挑戦！ 彼のテクニックと温かいハートを存分にお楽しみください。

ウィーン、フランス、イングランド、アイルランド…とたどってきた今回のプログラムですが、我孫子中バンドのラテンとポップスもお忘れなく！ 会場の皆さんと一体となって、この1年間各地のステージで繰り広げた音楽模様を再現します。昨年グレン・ミラーで活躍した「スナップ」のボーカルは…？ ご心配なく！「バンドとコーラスのための譜そうそう～花」で、OB,OG も交えたコーラス隊が出現する予定です。

よその中学校吹奏楽部とはひと味もふた味も違った魅力的な「我孫子中バンド春コン」、ご来場のお客様を絶対に満足させますので、どうぞお誘い合わせのうえご来場くださいますようお願いします。部員一同、皆まとご一緒に過ごすひとときを楽しみにお待ちしています。

（宣伝部長）